
読書家は眠らない

リーダー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

読書家は眠らない

【Nコード】

N9909Y

【作者名】

リーダー

【あらすじ】

読書家とは何か？

考えた事は一度も何もなかったが人は私の事をそう呼んでいるらしい。

11年間、私は本を読み続けた。

好きな物といわれても本と蟹の刺身としか言いようが無い。

そもそも私は……ジリリリリリ！……おや時間が来たようだ。では、私は戻らせて貰うでしょう。読みたい本がまだ残っているのですね。

第一版 ツアラトウストラはかく語りき

本を読む

私はこの動詞を心から賛美し推奨する

たった、19年間しか生きていない私だがその間に様々な本を読んだ
『金閣寺』 『蟹工船』 『戦争と平和』 『君主論』 『リヴァイアサン』

……

兎にも角にも色んな本を読んできた

ドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』や『罪と罰』 『白痴』
などは特に面白かった

ヒトラーの『我が闘争』も原本を何とか入手してドイツ語を翻訳しながら読んだ

本を読むときに大切なのは環境とどの視点から読めば良いか、と考
えながら読めば頭の中にするすると内容が入ってくる

あくまで自論だが私は本を読むときの環境はなるべく静かな場所を
選んで本を読む

最近では自分の住んでるマンションの屋上での読書をする

本来なら入ってはならない場所だが管理人さんとの交渉で読む本と
椅子だけなら持つて行っていいという事になった

マンションの屋上はとても静かだ

下から子供たちが公園で遊ぶ音や車の排気音などが聞こえるが、ち
ょうどいいうるささだから集中して読める

好きな本を好きな場所で読む

これほど恵まれた人生はこの世のどこにもないかと思う

私が最初に読んだ本は二ヒリズムの代表的人物ニーチェの「ツアラ
トウストラはかく語りき」だ

ちょうど小学3年生の時の夏休みだ

宿題の読書感想文を書かなければならないため本を探しまわった
実家の地下室には様々な本が貴重に保管されている

その中にその本はあった

父に朗読してもらいながら内容を理解しようとしたが、これがでんで分らない

感想文も結局「凄かったです」としか書けなかった

そこからだ

私が本を読み始めたのは

地下室の本をとにかくあさった

時には本を読むのに夢中でご飯を朝しか食べていない事もあった
おかげで今も一日一食を常として読書にふけている

ジリリリリリリリリリ！

けたたましく目ざまし時計が鳴り響く

確か今日は……ああ学校に行く日だったか

椅子から立ち上がり屋上のドアを閉め自分の部屋へと戻る

エレベーターに乗り8階のボタンを押す

ここのエレベーターは早い、多分5秒ぐらいで着く

エレベーターから自分の部屋は遠い、マンションの端っこにあるからだ

17秒かかり自分の部屋に入る

着替えるのがめんどくさいパジャマで登校してやろうかと考えながらも服に着替える

鞆の中には今日読む本を入れておく
今日読む本は川端康成の「雪国」だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9909y/>

読書家は眠らない

2011年11月29日22時48分発行